



感謝と喜び

～地域社会から教わったこと～

高知県文化生活部県民生活課
生活安全推進監

濱崎 法章

日ごろは、地域の安全安心のための各種取組へのご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本年三月、県警察から県へ出向して参りました。

さて、令和六年中、高知県内では、三五四五件の刑法犯が認知され、一〇三〇人が検挙されました。

犯罪情勢を述べる上で、このような統計上の数を示すのは、説明に具体性を持たせるという意味合いがあるからです。

それでは、被疑者として検挙されなかった人は何人いたのでしょうか。

その人数は、統計として扱われることはありません。

ただ、検挙された人よりも検挙されなかった人の方が圧倒的に多いことは容易に想像が

つくと思います。

テレビや新聞のニュースを見聞きして「なぜ、この人は罪を犯したのだろうか」と考える機会はよくありますが、「なぜ、人は犯罪をしないのか」という逆の発想もあります。

人が犯罪に向かわない理由は、警察に捕まるから、処罰を受けるから、友人や家族に合わせる顔がなくなるからなど、さまざま考えられますが、根本にあるのは、人間の良心ではないでしょうか。

小さい頃から可愛がってもらったり、親兄弟や友人、お世話になったなど周りの人の信用を裏切りたくないという気持ち、犯罪に向かわないよう人を制しているのかもしれない。

そのような感覚がありながら、エビデンスによって説明するのは、

相当難しいことです。

それが地域安全の取組の奥深さであり、醍醐味でもあります。

地域安全や交通安全の取組の中には、あいさつ運動、声掛け活動、見守り活動というものが

あります。

これらの活動によつ

て、事故や犯罪が減ったのか、効果はあったのか、自身の経験上、答えはどこにもありませんでした。

しかし、「おはよう」

「元気かえ」がんばっちゅうねえ」などと声を掛けられ、人から肯定され、存在を認められ、地域社会から見守られて

いるという安心感の中、良心が育まれ、意図せずとも犯罪に対する制御が掛かっているのではないか。私なりの仮説には、根拠は

ありません。

これまでにさまざま

な地域安全の取組を経験し、その時のことを思い返すたびに目に浮かぶのが、ともに取組を行っていた地

域ボランティアのみなさまの温かい笑顔、そして優しい声です。

地域のため、人のために、行動を起こす姿からは、言葉以上に教わることがたくさんありました。

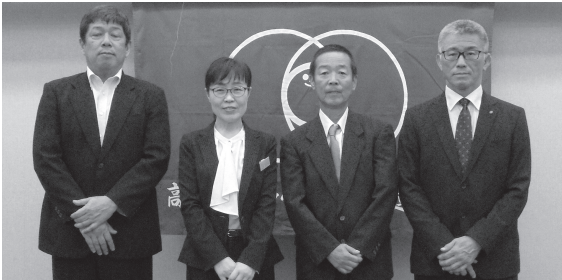
こうした活動を若い世代や子どもたちにもどんどん体験していただきたい。

そして、活動を通じて、社会のため人々の

ために行動する社会貢献の大切さ、その喜びを感じていただきたいと常々考えています。

生活安全推進監とし

ての在任期間は二年とされていますが、自己研鑽に努めながら、大切なことを教えてくれた地域社会に対し一層貢献し、恩返しができる二年間にしたいと思います。



〆二〇二五年度〆
高知県教育長・
高知県小中学校
PTA連合会会長表彰

矢野 宜史

土佐市立戸波中学校PTA

岡田 博親

須崎市立多ノ郷小学校PTA

田上 幸平

中土佐町立大野見

小・中学校PTA

澤田 雄一

宿毛市立宿毛中学校PTA



令和7年度 第54回 日本PTA四国ブロック研究大会 高知大会10/18^土

今年は高知で
開催されます。

子どもたちの幸せを願い、日ごろから実践活動
を続けている四国4県のPTA会員が一堂に集い、「ALL
FOR ONE ～一人ひとりが輝ける未来のために～」の大会スローガ
ンのもと、当面している共通の課題について研究協議するととも
に、PTA会員及び関係者との交流と理解を深め、新しい時代の要請
に応えるPTA活動を積極的に推進することを目的とする。

■大会スローガン・テーマ

「ALL FOR ONE
～一人ひとりが輝ける未来のために～」

■期日：令和7年10月18日(土)

■会場：高知県立県民文化ホール オレンジホール

■開催日程：10月18日(土)※研究大会

10:30	11:00	12:00	13:00	14:30	14:40
受付	開会行事 表彰行事	昼食	記念講演		閉会行事

■参加費：3,000円

記 念 講 演

●講 師：

(元)公益社団法人日本PTA全国協議会副会長

(前)佐賀県PTA連合会会長 江 田 明 弘 氏

●演 題：『今なぜPTAなのか』

【大会事務局】

四国ブロックPTA協議会事務局(高知県小中学校PTA連合会内)

〒780-0915 高知市大津町6-4 高知県立潮見記念青少年プラザ内

TEL(088)802-7004 FAX(088)802-7009